



地域接続線交通回廊の調査

ファクトシート（２）初期意見聴取集会における一般意見の要約

市民集会

地域接続線交通回廊（Regional Connector Transit Corridor）の調査における一般の意見は、Federal Register に「初期意見聴取の通知（Early Scoping Notice）」を掲載することにより 2007 年 10 月 31 日に始まりました。本調査の初期意見聴取プロセスの一環として、メトロでは地域集会を 2 回、以下のように開催しました。

2007 年 11 月 6 日（火） 11:30 a.m.～1:30 p.m.

Los Angeles Central Public Library（ロサンゼルス中央市民図書館）

2007 年 11 月 7 日（水） 6:00 ～ 8:00 p.m.

Japanese American National Museum（全米日系人博物館）

メトロでは、初期意見聴取集会でのほか、電子メール、郵便、情報電話ライン、本プロジェクトのウェブサイトより一般意見を集めました。初期意見聴取期間における正式な一般意見の受付期間は、2007 年 11 月 30 日に終了しました。

一般意見の要約

集まった意見の圧倒的多数は、メトロのブルー線、ゴールド線、ゴールド線のイーストサイド延長線およびエキスポ線間の直通サービスを提供し、これらの路線回廊を直接ユニオン駅に繋げることにより、現在および将来の鉄道システムの効率を上げる地域接続線の必要性を支持するものでした。意見提供者のほとんどは、Grand Avenue あるいは 1st Street に沿った地下鉄線で、ライト・レール・トランジット（LRT）技術を利用することを支持しました。駅の可能性として幅広い支持を得たものには、「リトル東京」、「7th Street/Metro」、「バンカーヒル」、「ユニオン駅」、「Main/1st」、「シビックセンター」などがありました。

地域接続線に反対する意見は皆無でした。多くの意見者が具体的に指摘したのは、複数の線を接続する交通システムを開発し、サービス強化のため 7th Street/Metro 駅を拡大、さらに様々な運用制度をグレードアップする必要性でした。本評価基準に関する意見を提供した方の中ではほとんどの意見が、最も重要なのはアクセス性である、というものでした。一般意見は全般的に以下のように集中しました。

形態

集まった意見は全て、地域接続線の好ましい形態として、圧倒的に LRT 技術を支持するものでした。路面電車の検討を支持する意見も若干ありましたが、バス・ラピッド・トランジット (BRT) やパーソナル・ラピッド・トランジット (PRT)、モノレール技術を検討するという意見はほとんどありませんでした。

地上か地下か

初期意見聴取集会で意見を述べた方々のほとんどは、地下鉄を望んでいました。

路線配置

2回の初期意見聴取集会では、Grand Avenue に沿って路線配置する意見と 1st Street に沿って路線配置する意見のほぼ半々に分かれました。また、ある程度の支持を得たのは 2nd Street に沿った路線配置と、ブルー線の延長でした。3rd Street や Flower などに路線を望む意見は限られており、その他の路線配置の可能性に関しても、興味はさらに低下しました。

駅の設置場所

駅の可能性として幅広く人気があった所在地は数箇所あり、1st Street の路線配置を好むか、Grand Avenue の路線配置を好むかの意見をいくらか反映していました。支持率の高い駅を順に述べると、まず一番が「リトル東京」で、これは調査対象地域にいたる地域接続線の目玉として見られており、次は主要ハブと見なされている「7th Street/Metro」の駅、そして「バンカーヒル」、「ユニオン駅」、「Main/1st」、「シビックセンター」と続きました。

運用上の課題

意見を提供したステークホルダーの方々は、地域接続線がメトロの他の鉄道路線との接続を提供する必要性を強く訴えました。また、意見提供者は、このようなプロジェクトを築くには、将来の配電や信号システム、制御システムのグレードアップを必要とし、おそらく 7th Street/Metro 駅の拡大と機能を向上することになるであろう、と述べました。他の課題としては、車両を増やし、駅の維持管理を強化し、駅と線路の両面での安全性を向上し、ゴールド線のトンネルを建設するに用いられた技術の実行を検討する必要性が挙げられました。

評価基準に関する意見

評価基準に関する意見は、わずかですがありました。それには、評価基準には歩行者やベビーカー、障害者用 (ADA) アクセスも含まれるべきだ、という意見も含まれていました。

接続性

集まった一般意見のほとんどは、本プロジェクトを全般的に支持するもので、さらに多くの交通路線と接続する必要性を唱えるものでした。また、中には地域接続線を完成することによって、本地域内どこからでもウェストサイドへ行けるようになる、と考える人もいました。地域接続線を構築するためには地元での資金調達を求めるべきであり、運賃値上げにより本プロジェクトの資金調達をすべきではない、という考えの人もいました。

今後の計画

初期意見聴取の通知	2007年10月
地域意見聴取集会	2007年10月～11月
代替案の初期スクリーニング（絞込み）	2007年12月
代替案分析レポートの草案	2008年1月
最新情報の地域集会および初期代替案の定義	2008年2月
最新情報の地域集会およびAA調査レポートの完成 理事会へ「現地に好ましい代替案（LPA）」を推奨	2008年初夏

詳しくはメトロのウェブサイト www.metro.net/regionalconnector をご覧になるか、プロジェクト情報ライン 213.922.7277 へお電話をどうぞ。スペイン語と日本語の情報もあります。